



THE RECORD

2004.12
No. 541

Essay ~レコードと私~

浅井 慎平 (写真家)

Special Feature

2004年度
Respect Our Musicキャンペーン開始

- 2004年上半期世界音楽売上
- 「ICタグ欧州視察調査2004」レポート

RIA
Recording Industry Association of Japan

社団法人 日本レコード協会

浅井 慎平 (写真家)



浅井慎平 (あさい しんぺい)

1937年愛知県出身。広告制作会社を経てフリー。66年、写真集「ビートルズ東京」でメジャーデビューを果たす。主に広告写真で活躍し、アメリカ西海岸や島ブームの火付け役となった。81年、東京アート・ディレクターズ・クラブ最高賞を受賞。写真にとどまらず表現分野は、映画製作、文藝、音楽プロデュース等の幅広い分野においてマルチクリエイターとして活躍している。91年、千葉県千倉町に30年間に渡る作品を収めた「海岸美術館」を設立。また、99年には初のヴォーカルCD「東京ノスタルジー」をリリースした。近著に、旅人・浅井慎平が出会った島の暮らしを写真とエッセイで編んだ写真集「風の中の島々」。

「浅井さんが初めて買ったレコードは何ですか？」と良く聞かれますが、ほとんど答えませんでした。なぜなら少年時代の自分を見透かされてしまう気がして恥ずかしかったからです。しかしここでは白状せざるを得ません。最初に買ったレコードはドリス・デいの「アゲイン」でした。彼女はアカデミー賞を何度も受賞しているので女優と思われるかも知れません。しかし僕にとってのドリス・デいは、レス・ブラウン楽団の専属歌手時代に「センチメンタル・ジャーニー」の大ヒットをとばし、『アメリカが純情だった頃』の象徴的なシンガーでありアイドルだったのです。

『アメリカが純情だった頃』僕はたくさんの影響を受けました。高校時代にエルビス・プレスリーに出逢ってしまったのもまさに「運命」だったかも知れません。レコードや本や映画に使ったお金はいい幾らくらいだったのか想像もつきません。カントリー&ウエスタン、ハワイアン、タンゴ、スクリーンミュージック・・・等々何でも聞きました。そしてがむしゃらにレコードを聴きまくりました。その中から僕が得たモノは「リズム」でした。

当時は再生する音響機器の低音（ベースやドラムス）が聴き取り難いこともあって、ほとんどの日本人はメロディしか聴いていませんでした。しかし何度も繰り返し聞くことによって、リズムが次第に分かるようになったのです。こうなると音楽が楽しくて仕方がなくなります。もちろん学生時代にバンド活動も経験しました。その頃の影響なののでしょうか、

僕の好きな音楽はリズムのしっかりしているものです。ジャズで言えばリズムギターの良いバンドです。例えば、カウント・ペーシーのギターやナットキング・コールのギターとかです。

ジャズと言えば、今NHKラジオ第1で「ときめきJAZZ喫茶」（月曜夜9時30分～）と言う番組のDJをしています。その中でこんな話をしたの思い出しました。僕が若い頃、写真の先輩に「君のように色々なものに興味を持つ人はうまくなりません、もう少し写真だけ頑張れ」と言われたのですが、その先輩が下手なのは写真のことしか考えないで「頑張りすぎているからだ」と生意気に思ったのです。

ジャズのレコードも同じです。ピアノリオは大好きですが、頑張り過ぎたり、うまさを押しつけるようなピアニストのレコードはあまり聞きません。音楽は「気分」が大事です。ですからレイ・ブライアントとかエロール・ガーナーくらいの方がホッとします。どんなに頑張っても人間が100メートルを5秒台で走れるようにはならないのですからね。

最近ドアの開かない乗り物が多くなったと思いませんか？文明だけが遠ざかって行くように感じませんか？音楽だって高度成長の波に乗って頑張り過ぎたらバブルで崩壊しちゃいます。

「皆さん頑張っていますか？」僕は「頑張っていない！」あまり「頑張る」と疲れちゃうでしょう。鼓動や歩幅に近いものが良いに決まっています。そんなレコード(CD)をいつも探しています。

企画・構成：木崎 徹

表紙の楽器

クアトロ

「クアトロ」とはスペイン語で数字の4の意味。ベネズエラでは、4弦でウクレレより少し大きめの単弦楽器をこう呼ぶが、プエルトリコでは、同じような形で5コース10弦の複弦楽器のことを指す。どちらもスペインの小型ギターから由来したものと考えられ、国民的楽器としてフォルクローレの演奏には欠かせないものとなっている。

Contents

Special Feature	
2004年度 Respect Our Musicキャンペーン開始	2
2004年上半期世界音楽売上	5
「ICタグ欧州視察調査2004」レポート	7
Topics & Information	9
伊奈一男氏を偲ぶ	11
Monthly Production Report	12
今月の数字	13
Gold Album+...認定	14

2004年度 Respect Our Musicキャンペーン開始

更なる不正アップロード対策に向けて

Respect Our Music

不正コピー、不正アップロード対策活動への理解を求める Respect Our Musicキャンペーンは、今年で3年目を迎えます。これまで、会員各社並びに音楽関連団体の協力のもと、アーティスト、販売店、メディアなど関係各方面の多大な支援を受けながら、広がりのある活動を継続的に推進してきました。12月からスタートした今年度の活動は、特に「インターネット上の音楽の不正利用対策」をメインに、法的対応と連動し、多面的に展開していきます。その概要についてご紹介します。



継続した活動で理解を深める

2002年秋に始まったRespect Our Musicキャンペーンは一步ずつ、着実な活動を積み重ねてきました。初年度には主にマスコミやレコード販売店などの音楽業界のチャネルを活用して、「不正コピー、不正アップロードは音楽文化の根底を揺るがしかねない問題である」との認知拡大を図りました。2年目の2003年には、より広がりのある活動にしていくために、活動の場を学校など教育現場にも広げて、教育課程の早い時期からの認知と理解の促進にも力を入れました。また、会員社、販売店との協賛イベントや、日本ゴールドディスク大賞との連動なども含め、プロモーション活動を多面的に推進し、より深く、幅広い啓発に努めました。

ロゴ・ステッカー、リーフレット、ポスターという3種類の親しみやすいツールを多彩なチャネルを通じて展開してきた結果、本キャンペーンのメインターゲットである10～30歳代のCDリスナー、PCユーザーをはじめ、あらゆる世代の一般ユーザーに「Respect Our Music」が定着しつつあります。



今年度の啓発リーフレット

2004年、違法ファイル交換対策を前面に打ち出す



キャンペーンポスター

今年度は、合法オンライン音楽配信事業の拡大やハードディスク携帯プレーヤーの本格的な普及が見込まれるという状況を背景に、違法なファイル交換に対する啓発に焦点をあてた活動を12月から展開しています。

昨年度まで、数多くのアーティストからのメッセージとして、音楽を正しく聴く大切さを訴えるアーティスト連名のポスターを作成してきました。これは、マスコミでも大きく取り上げられるなど、大きな反響呼びました。今回は、さらに踏み込んで、ユーザーに強い訴求力のあるアーティストの方々をメインキャラクターに据えた活動で、10～30歳代のCDリスナー、PCユーザー層を中心に強く訴えかけます。奥田民生、華原朋美、コブクロ、m-floの各アーティストにご協力いただき、それぞれのビジュアルを使用して新聞・雑誌広告、インターネットバナー広告、各種パブリシティ、ポスター等を展開。12月からおよそ4カ月間にわたって、店頭イベントなども含めた話題性の高い活動を通じて、より多くのユーザー

への訴求を図っていきます。

継続して積み重ねることと、話題性を伴って認知度を高めること。当協会では、この2つを基本軸として、効果的な活動を行ってまいります。

悪質なユーザーには強い姿勢で ～不正アップロードユーザー情報開示請求を開始

Respect Our Musicキャンペーンを通じてユーザーの理解を求める一方、当協会では、違法と知りながら不正アップロードを行うユーザーには強い姿勢で臨み、行動を起こしています。

本年3月から、ファイル交換ソフトを使ってインターネット上で音楽ファイルを不正にアップロードしていると思われるユーザーに対し、インスタントメッセージ(IM)を利用して注意を促す通知を行ってきました。IMの送付数は、すでに420万通を越えて

います。さらに、たび重なる警告にも関わらず、不正アップロードを繰り返す悪質な個人に対して、損害賠償請求などの法的措置を含めた対応を行うために、インターネットプロバイダに対して発信者情報の開示請求を行う方針を打ち出しています。これまでに合計で会員社7社よりプロバイダ10社に対し、計30件の情報開示請求を行いました。Respect Our Musicキャンペーンと並行して、今後も継続的に行ってまいります。

2004年度「Respect Our Music」キャンペーン・イベント報告

12月2日、4組のアーティストの方々によるキャンペーンの先頭を切って、奥田民生さんをフィーチャーしたイベントを、東京・渋谷駅周辺の繁華街で開催しました。渋谷タワーレコード店頭での1DAYイベントでは、大型パネルを設置して、訪れたお客様にアピールし、UFOキャッチャーによる景品獲得ゲームなどにも参加していただきながら、「音楽の違法ファイル交換防止」を訴えました。また、渋谷の街中でも、ゲームセンターやファーストフード店舗、ショップなど人の目につきやすい場所でポスタージャックを行うとともに、渋谷の各所に「奥田民生」ビジュアルのキャンペントレーナーを着た人たちが現れて、大勢の人たちから注目を集めました。



にぎやかな通りに面したビル壁面を飾るキャンペンポスター。足を止めてじっと見る人もいました。



CDクリーナーがもらえるUFOキャッチャーには、たくさんの人が挑戦して賑わいました。



キャンペントレーナー、バッグを身につけて渋谷の街角を歩くスタッフ一同。交差点でも目立っていました。

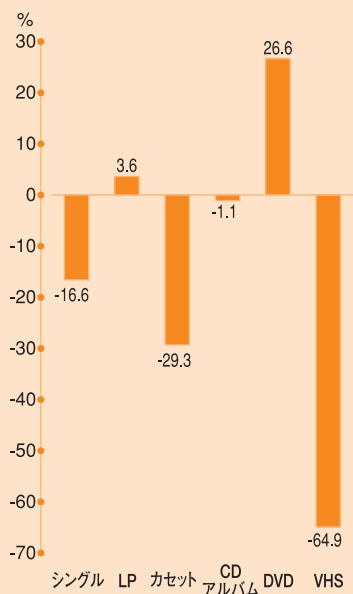


興味深そうにキャンペンバックを受け取る高校生。

2004年上半期世界音楽売上

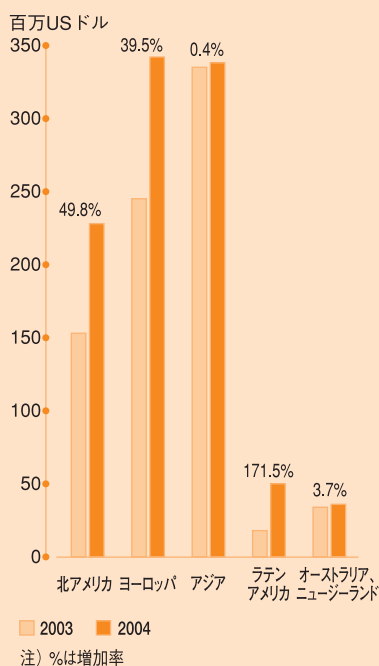
IFPI（国際レコード産業連盟）は、2004年上半期（1～6月）の世界音楽売上を発表しました。今上半期は売上の減少傾向に歯止めがかかり、2000年以降で一番低い減少率となっています。ここでは、IFPIのレポートから抜粋した、上半期世界音楽売上の概況をご紹介します。

フォーマット別成長率（金額）



注）カセットシングル、CDシングルは「シングル」に含む。

地域別音楽DVD売上



注）%は増加率

■売上・市場状況

2004年上半期の世界音楽売上（オーディオおよび音楽ビデオ）は、金額では前年同期比で1.3%減少したものの、数量では1.7%増加となりました。オーディオのみでは、金額で前年同期比2.7%の減少となりました。一方、音楽DVDの26.6%という大幅な伸びにより、音楽ビデオ全体では20.2%の増加を示しました。フォーマット別の売上金額は、CDアルバムが1.1%減、CDシングルが16.6%減、カセットテープが29.3%減となりました。オーディオと音楽ビデオを合わせた売上合計金額は、前年同期の141億USドルに対し、139億USドルとなっています。

通常、上半期の売上金額は、年間売上の約40%に相当するとされています。2004年上半期の音楽売上は、国・地域によってばらつきが見られるものの、これまでの減少傾向が鈍化し、2000年以降では一番低い減少率となりました。特にアメリカは回復基調が確かなものとなり、カナダ、ドイツ、日本でも長期にわたる減少に歯止めのかかる傾向が見られました。しかしながら、スペイン、イタリア、オランダといった国々は引き続き問題を抱え、またフランスやオーストラリアの市場は、最近になって減少に転じ、精彩を欠きました。

■地域別の状況

・欧米

北米地域では、アメリカにおいて数量で5%、金額で3.9%の増加となりました。また、カナダがほぼ横ばいであったことから、北米地域全体では成長を達成しています。

一方、ヨーロッパではオーストリア、フランス、ポルトガル、スペイン、スウェーデンの各国における減少の影響が大きく、ヨーロッパ全体で数量5%減、金額7.7%減となりました。

・アジア

アジア地域の80%以上の売り上げを占める日本において、減少傾向により鈍化の兆候が現れてきました。数量で若干の改善が見られ、金額面も堅調に推移しました。しかし、韓国では長期にわたるオンライン上での著作権侵害の影響により、金額で

トップ10マーケット

	売上総額 (百万USドル)	数量 (増加率)	金額 (増加率)
アメリカ	5,049.0	5.0%	3.9%
日本	2,433.5	1.7%	-0.3%
イギリス	1,255.5	-0.9%	-0.2%
ドイツ	892.7	-2.4%	-5.2%
フランス	838.9	-18.9%	-21.9%
イタリア	300.3	-14.4%	-7.1%
オーストラリア	282.1	-5.6%	-9.0%
スペイン	260.3	-18.3%	-10.6%
カナダ	253.7	1.2%	-0.4%
オランダ	224.8	-4.3%	-8.4%

地域別売上

	数量 (増加率)	金額 (増加率)	売上総額 (百万USドル)
世界合計	1.7%	-1.3%	13,900
北米	4.7%	3.6%	5,300
ヨーロッパ	-5.0%	-7.7%	4,800
アジア	4.0%	-0.8%	3,000
アジア(日本を除く)	5.5%	-3.0%	500
ラテンアメリカ	27.1%	23.5%	400
オーストラリア、ニュージーランド	-5.4%	-8.7%	300
中東	-8.3%	0.7%	40

25%減という大幅な落ち込みを示しました。同様に、香港の音楽市場も急激に減退しました。両市場では、メガヒットのリリースが減少しています。今やアジア第2位の市場に成長した中国では、数量・金額ともに顕著な伸びを示しました。しかしながら、その実態は、海賊版に対抗するためにディスカウントされた正規CDによって支えられたものであり、いまだに横行する海賊版CDが中国市場本来のポテンシャルを引き出すことの阻害要因となっています。

・ラテンアメリカ

南米では、ブラジル、アルゼンチン、メキシコの各市場が好況に転じたことから、全体でも金額で23.5%増となりました。景気が回復に向かうと同時に、強力な新譜が順調にリリースされてきたことが売上の好転につながっています。メキシコでは、海賊版CD対策キャンペーンが実を結び、海賊版市場全体が縮小したことにより、正規市場の成長が促されました。

・オーストラリア、ニュージーランド

オーストラリアでは、国内レパートリーや音楽DVDの堅調な売り上げに支えられていた2003年上半期に対し、2004年上半期には金額で9%減少しました。ニュージーランドは、減少率がほぼ横ばいの状態となっており、2004年上半期では金額で6.8%の減少となりました。

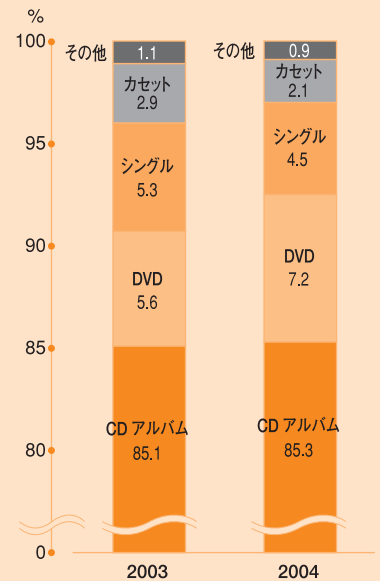
音楽DVD売上トップ10マーケット

	売上 (百万USドル)	各国売上に占める DVDの割合
日本	258.8	11%
アメリカ	206.3	4%
ドイツ	77.2	9%
フランス	77.0	9%
オランダ	53.9	24%
イギリス	41.0	3%
オーストラリア	30.7	11%
スペイン	25.0	10%
カナダ	24.9	10%
イタリア	18.8	6%

■下半期の展望

7～12月の下半期は、デスティニーズ・チャイルド、エミネム、エンヤ、グッド・シャーロット、グリーン・デイ、アラン・ジャクソン、ジェニファー・ロペス、ルダクリス、ネリー、U2、R.E.M.、ブリトニー・スピアーズ、グウェン・ステファニー、ジョス・ストーン、ロビー・ウィリアムズといった著名アーティストのリリースが予定され、世界の音楽市場に活気をもたらすことが期待されます。

フォーマット別シェア(金額)



注) カセットシングル、CDシングルは「シングル」に含む。

「ICタグ欧州視察調査2004」レポート

10月10日～17日の7日間、電子商取引推進協議会（ECOM）の主催による「官民合同ICタグ欧州視察調査2004」が実施され、当協会からは情報・技術部課長代理の赤塚祐一郎が参加しました。オーストリア、ベルギー、ドイツ、イギリスの4カ国における、ICタグ（以下：電子タグ）の最新技術および導入状況とレコード業界における電子タグの可能性についてレポートします。

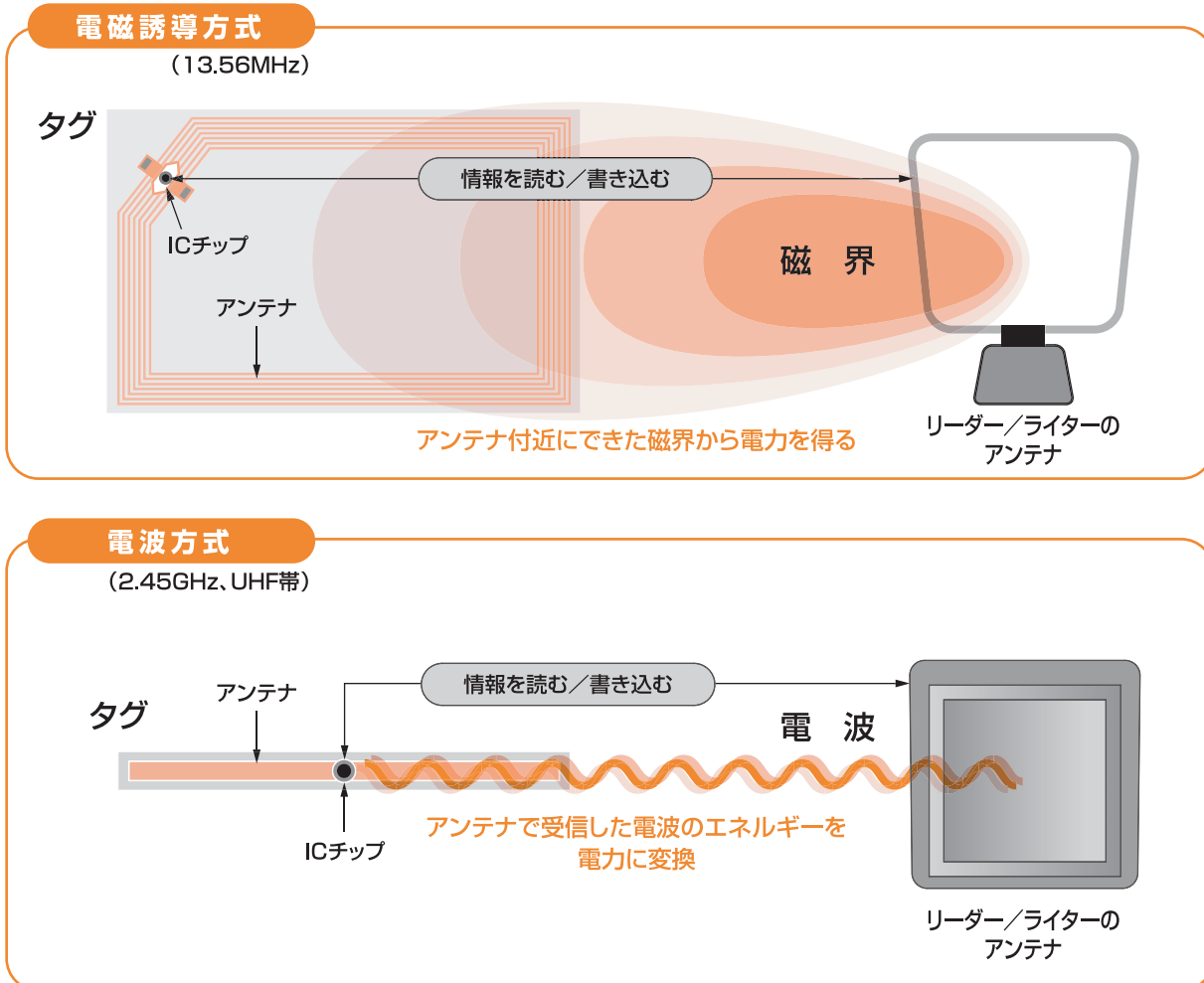
電子タグは次世代バーコードと呼ばれ、本体に触れることなくバーコードより多い情報が読み書きできる電子荷札です。商品一つひとつを独自の番号で管理できる（固体管理）など、在庫管理や物流工程の効率化等といったサプライチェーンマネジメントを推進する技術として注目を集めています。

電子タグには、電池を内蔵していないパッシブ型という方式が主に採用されています。自らが電源を持たないこの電子タグは、本体上のアンテナでリーダーライターの発する電波等を受信し電力に変換して、ICチップの情報を読み書きする仕組みとなっています。使用されている電波は複数の周波数があり、代表的なものとして13.56MHz（電磁誘導方式）、UHF帯、2.45GHz（電波方式）等があります（図参照）。

音楽・映像ソフト業界では当協会を始め、日本レコード商業組合（日レ商）、日本映像ソフト協会（JVA）、日本コンパクトディスク・ビデオレンタル商業組合（CDV-J）の4団体が、平成16年度経済産業省電子タグ利活用実証実験に参加しています。

今回の視察団は、濱邊哲也氏（経済産業省商務情報政策局流通・物流政策室長）を代表とした総勢43名。電子タグのICチップ製造メーカー2社、大手小売業3社、EAN本部（国際流通標準化機関）およびオートIDセンター（ケンブリッジ大学）等の視察調査を行いました。

図：電子タグとリーダーライターの通信方法（イメージ）



以下に主な訪問先における視察の概要について紹介します。

●10月11日[オーストリア・グラーツ]

PHILIPS Semiconductor社
(ICチップ製造企業)

オランダ・フィリップス社の半導体子会社であり、1980年代から電子タグ分野に進出している企業です。ISO (国際標準化機構) やEPCグローバル (電子識別コードを管理・運営する非営利法人) などの標準化活動にも積極的に取り組んでいます。

会社概要、取扱商品、標準化活動、研究施設の紹介・説明に続き、電子タグ関連のデモンストレーションが行われました。プレゼンテーション、デモンストレーションともに、非常に熱心な説明を受けました。



ゲートを用いた各種電子タグの読み取り距離デモンストレーション



EPC対応13.56MHz電子タグの36枚同時読み取りデモンストレーション

●10月12日[オーストリア・グラーツ]

INFINEON Technologies Austria AG社
(ICチップ製造企業)

インフィニオン・テクノロジー社は、ドイツの大手電機・電子機器総合メーカーのシーメンス社の半導体部門が1999年4月に分離独立した企業です。

訪問したインフィニオン・テクノロジー社の技術開発施設「RFID Solution Excellence Center」では、40名のスタッフがRFIDを担当しています。このセンターは、各種RFIDの動作実演を行うアプリケーション・デモセンターとしての役割も持ち、最先端の技術が開発されています。

備考：RFID (Radio Frequency Identification) は、ここでは、電子タグと同じ意味です。



CDディスク内周に貼り付けられた円形状の電子タグ



CDの貸出・返却システム

■10月13日[ドイツ・ラインベルグ]

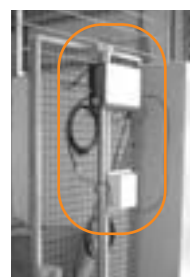
Metro Extra Future Store店舗
(組織小売業)

メトロ社はドイツ最大手の組織小売業者で、世界28カ国に約2,400店舗を展開しています。グループ全体の従業員数はおよそ24万2,000人、2003年度の連結売上高は5,360万ユーロであり、世界の小売業ランキングで第5位 (2004 Global Powers of Retailingによる) の企業です。

視察したMetro Extra Future Storeは、30年前からある店舗を改装し2003年4月20日にオープンした未来型店舗。IBM、SAP、インテル、マイクロソフト、シスコをはじめとした約40社の電子タグのパートナー企業と共同で開発されました。



電子タグ対応DVD視聴機 (CD/DVD売場)



商品納入口にある電子タグ用ゲート (UHF帯)

Topics & Information

IFPI中央理事会開催

11月10日、IFPI（国際レコード産業連盟）の中央理事会がニューヨークで開催され、当協会佐藤修会長がIFPI理事会メンバー就任後、初めて出席しました。

今回の中央理事会では、インターネット上での音楽の違法利用対策が最重要課題として取り上げられ、悪質な個人に対する訴訟戦略の経過・今後の展開、違法利用を防止するためのキャンペーン実施状況・今後の計画について、討議が行われました。

また、この会議において、IFPI会長兼CEOのジェイ・バーマン氏が今年12月末で辞任し、来年1月からジョン・P・ケネディ氏が同職に就任することが正式に承認されました。なお、バーマン氏は来年1月からIFPI名誉会長に就任することになります。

ファイル交換ソフトを利用した音楽ファイル不正アップロードユーザーの発信者情報開示請求手続き開始

11月15日、当協会会員レコード会社7社は、ファイル交換ソフトを利用してインターネット上で音楽ファイルを不正にアップロード（公開）しているユーザー12名の氏名等の開示を求める請求を、当該送信のためのインターネットへの接続を提供するプロバイダ8社に対して行いました。

今回、発信者情報開示請求を行ったのはビクターエンタテインメント（株）、ユニバーサルミュージック（株）、東芝EMI（株）、（株）ワーナーミュージック・ジャパン、エイベックス（株）、（株）ソニー・ミュージックレコーズおよび（株）デフスターレコーズの7社で、当該ユーザーが、市販CDの音源をファイル交換ソフトを利用して許諾なくアップロードしている行為が、各社の著作権隣接権（送信可能化権）を侵害していることから、「プロバイダ責任制限法」第4条第1項に基づきインターネットプロバイダ8社に対しユーザーの氏名、住所等の情報（発信者情報）の開示請求を行ったものです。

今後、発信者情報を開示するか否かは、開示請求者の主張の内容および発信者からの意見聴取によってインターネットプロバイダが判断することとなります。

当協会は、ファイル交換ソフトを利用してインターネット上で音楽ファイルを不正にアップロードしていると思われるユーザーに対して、本年3月から、インスタントメッセー

ジ（IM）を利用して注意を喚起する通知を開始し、現在までのIM送付数は420万通を超えています。また、一昨年から、「Respect Our Music」キャンペーンなど様々な著作権に関する啓発活動を実施しています。その結果、多くのユーザーには、市販CDの音源を許諾なくアップロードすることの違法性が認知されつつあるものと考えています。

しかし、他方では、残念ながら、権利者の許諾を得ない音楽ファイルを、繰り返し大量にアップロードする個人もあとを絶たないため、当協会会員レコード会社は、当該個人に対し損害賠償請求等を行うために必要な氏名等の発信者情報の開示請求をインターネットプロバイダに対して行うこととしたものであり、今後も継続して行っていく予定です。

当協会および当協会会員レコード会社は、「音楽創造のサイクル」を崩壊させ音楽文化の衰退をもたらす音楽コンテンツの違法利用を撲滅するため、今後とも、国内外の関係団体および関係各方面の方々と連携を密に取りながら、著作権に関する啓発活動とともに、必要な対策活動を行っていきます。

文化芸術推進フォーラム秋のつどい開催



フォーラムの様子

文化芸術分野の12団体で構成される文化芸術推進フォーラムは、11月17日、東京千代田区の丸の内三菱ビルにおいて「文化芸術推進フォーラム2004年

秋のつどい」を開催しました。

このつどいでは、同フォーラムが平成17年度における最重点課題として掲げた以下の7項目を中心に、各政党の文化芸術を担当されている議員の先生方から、それぞれの政策をご説明いただいた後、質疑応答が行われました。

● 文化芸術推進フォーラム最重点7つの課題

- ① 劇場、コンサートホール、寄席、映画館などにおける鑑賞・体験機会の充実
- ② フィルムセンターの独立と機能の充実
- ③ 著作権および著作権隣接権の保護期間の延長と私的録音補償金制度の見直し

- ④ 文化芸術を担う人材の育成とセイフティーネット
- ⑤ 文化庁予算のシェアUP (0.2%)
- ⑥ 文化芸術の振興を促す税制
- ⑦ 地方公共団体における文化振興基盤の強化

● つどいに参席された先生方(敬称略)

城内 実(自由民主党)、達増拓也(民主党)
池坊保子(公明党)、石井郁子(日本共産党)
横光克彦(社会民主党)

● 文化芸術推進フォーラム構成団体

(社)日本芸能実演家団体協議会
(社)日本音楽著作権協会
(社)日本レコード協会
(社)音楽出版社協会
芸術家会議
(社)日本オーケストラ連盟
(財)音楽文化創造
(協)日本映画監督協会
本映画メインスタッフ連絡会
全日本舞台・テレビ技術関連団体連絡協議会
芸術文化振興連絡会<PAN>
(協)日本シナリオ作家協会

還流防止措置の行使に当たっての実務上の留意事項等に関する文化庁からの通知について

当協会は、2005年1月1日から施行される「国外頒布目的商業用レコードの還流防止措置」(著作権法第113条(新)第5項)について、文化庁から、この措置を行使するに当たっての実務上の留意事項等をまとめた通知書を受領しました。この通知書は、12月7日、文化庁において、加茂川幸夫文

化庁次長から直接当協会佐藤修会長に交付されました。当協会会員各社への周知徹底の要請に対し、佐藤会長は、各社が還流防止措置を円滑に行使するために、この通知書の内容について速やかに各社に周知することを約しました。

また、当協会は、還流防止措置が適用されるレコードであることを輸入者等に認知させるとともに、税関等において円滑な運用が行われることを目的として、「還流防止措置に係る国外頒布目的商業用レコードの表示に関する運用基準」を12月6日付で制定し、発行しました。

これらの詳細については、引き続き当機関誌で取り上げてまいります。

● 正坊地隆美氏ご逝去

元日本コロムビア(株)(現コロムビアミュージックエンタテインメント(株))会長の正坊地隆美(しょうぼうじ たかみ)氏が、11月10日ご逝去されました(享年93歳)。同氏は当協会第5代および第8代会長も務められました。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

● 2004年11月会議メモ

11・9 法制委員会
11・10 マーケティング委員会
レコード倫理審査会
11・12 情報・技術委員会
11・19 広報委員会
執行委員会
11・26 理事会

当協会委員会について

現在、当協会では、法制委員会、情報・技術委員会、広報委員会、マーケティング委員会、二次使用料委員会、レンタルレコード委員会の6つの委員会が運営されています。11月10日現在の各委員会の担当副会長、委員長、副委員長は、以下の通りです。

	担当副会長	委員長	副委員長
法制委員会	石坂 敬一(UM)	天沼 澄夫(K)	吉澤 正宣(TE)
情報・技術委員会	齊藤 正明(TO)	三田 雅史(V)	山本 薫(C)
広報委員会	榎本 和友(SME)	堂山 昌司(BMG)	秦 幸雄(SME)
マーケティング委員会	澁谷 敏旦(V)	山本 陽一(VAP)	水村 雅博(TO) 小俣 雅充(SME)
二次使用料委員会		後藤 豊(FL)	吉澤 正宣(TE)
レンタルレコード委員会		稲垣 博司(AVT)	山本 陽一(VAP)

伊奈一男氏を偲ぶ

音楽評論家の伊奈一男さんが、11月16日に亡くなりました(享年78歳)。同氏は1985年よりレコード制作基準倫理委員会(現レコード倫理審査会)学識経験者委員を歴任していただくなど、諸活動を通じて当協会にご尽力いただき、またレコード産業の振興においても多大な功績を残されました。

同氏を偲んで、八巻明彦さんにご寄稿いただきました。



五十年の 永き契りの わが友の 遥けく 逝きし 冬隣りかな

毎日新聞社学芸部の音楽記者だった伊奈一男氏と取材先でめぐり合い、記者仲間としておつき合いを始めたのは、昭和20年代後半のことであったから、半世紀も昔である。そして、伊奈氏の実質的な準備・手配の下に、日本新聞協会加盟の新聞社・通信社の音楽担当記者22名による東京音楽記者会が創設され、事務所というか連絡場所として、築地にあったレコード会館に置かせていただくことで業界各社に連絡をしたのは、昭和28年10月22日。

以来50年、昨平成15年10月22日に東京・赤坂プリンスホテルに業界各位のご出席も得て、記念パーティーを催すことができた。開会の壇上には発起人である記者会OBの古手諸君とともに、伊奈氏はじめ私と初代幹事を勤めた小倉友昭氏(日刊スポーツ)や佐藤泉氏(東京タイムズ)、それに森田潤氏(当時東京日々)の記者草創期から親交を続けてきた諸氏も顔を揃えた。開会挨拶は、初代幹事ということで私が行ったが、実はこれも伊奈さんが発足時に「スタートの幹事は八っちゃん、君もやれ」と言ったのが半世紀も生きていた結果で、当時既に第一線で活躍していた小倉氏をメイン幹事にし、新聞記者3年生の若手の私をサブにつけて業界との連絡・応対に当たらせようとの伊奈氏の心配りであった。おかげで私は業界各位と急速にコミュニケーションがとれることとなり、あらためて伊奈氏の配慮に感謝している。初めはとつきにくい印象の伊奈氏だったが、おつき合いを始めたら、写真批評の草分けの伊奈信男氏の令息だけに、実は大変親切で心の優しい紳士であることが分かり、ずーっと兄事してきた。

新聞記者の在り方や音楽業界の動向から、カメラの購入や写真撮影技術、さらにはアルコールに弱かった私に薄めのウイスキー水割りが適当だ等々、各般にわたって指導してくれた。誠に有り難い先輩であり、親友であった。記者会50年の宴で同席したのが最後となったが、この時ご一緒した佐藤泉氏とも今年同様のお別れとなったのは、奇しくも哀しき因縁といえよう。

伊奈氏の仕事については、皆さんのほうがよくご存知のはずだ。故平井賢氏が肝入りでスタートした「日本レコード大賞」には初回審査から関わり、TBS大晦日の恒例番組となってからは系列会社の縁もあって運営に力を注ぎ、レコード業界に対しては「レコード制作基準」の審査委員として毎月の新譜内容を厳しくチェックするほか、歌手達のイベントには平井氏の衣鉢を継ぐ形で乾杯の音頭に加えて、明晰なデータを掲げて歌手達を励ますことを欠かさなかった。

かつて日本ビクターの百瀬結社長が「伊奈さんはバランスの取れた音楽記者だ」と評したが、晩年の仕事となった「月刊連合通信」誌上でのレコード界トップとの対談シリーズにもそれが示されていた。

八巻 明彦(やまき あきひこ)

音楽評論家。1928年宮城県出身。元報知新聞社PR室長。「軍歌歳時記」「軍歌で見る日本戦争史」など、軍歌研究者として著作多数。

Monthly Production Report

2004年10月度レコード生産実績

10月度の音楽ソフト（オーディオレコード・音楽ビデオの合計）生産実績は、数量で前年同月比83%の2,614万枚・巻、金額で前年同月比85%の315億円となりました。このうち、オーディオレコードは、洋楽が数量で前年同月比101%の702万枚・巻、金額で前年同月比108%の90億円となりましたが、邦楽が不調で、合計では数量で前年同月比81%の2,367万枚・巻、金額で前年同月比85%の282億円となりました。またこの結果、音楽ソフトの1～10月度の累計は、数量で前年同期比96%の2億7,493万枚・巻、金額で前年同期比94%の3,367億円となっています。

● オーディオレコード

(数量:千枚・巻／金額:百万円)

			10月実績						2004年(1月～10月)累計					
			数 量	構成比	前年 同月比	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同期比	金 額	構成比	前年 同期比
シン グ ル	8cmCD	邦	621	3	23%	58	0	22%	12,632	5	85%	1,140	0	44%
		洋	5	0	333%	0	0	44%	1,492	1	244%	139	0	292%
		計	625	3	23%	58	0	22%	14,124	6	91%	1,279	0	48%
	12cmCD	邦	5,466	23	102%	4,186	15	104%	53,502	21	95%	41,040	14	95%
		洋	147	1	154%	125	0	159%	673	0	75%	553	0	74%
		計	5,612	24	103%	4,311	15	105%	54,176	22	94%	41,593	14	95%
	小計	邦	6,087	26	76%	4,244	15	99%	66,135	26	93%	42,179	14	93%
		洋	151	1	156%	125	0	158%	2,165	1	144%	692	0	87%
		計	6,238	26	77%	4,369	16	100%	68,300	27	94%	42,871	14	92%
	12cmCD アルバム	邦	9,815	42	74%	14,212	50	74%	111,700	45	93%	162,261	55	92%
洋		6,843	29	101%	8,867	31	108%	61,395	25	102%	84,858	29	99%	
計		16,659	71	83%	23,079	82	84%	173,095	69	96%	247,119	83	94%	
CD 合計	邦	15,902	67	75%	18,456	66	79%	177,835	71	93%	204,440	69	92%	
	洋	6,995	30	102%	8,992	32	108%	63,560	25	103%	85,550	29	99%	
	計	22,897	97	81%	27,448	97	86%	241,395	96	95%	289,990	98	94%	
アナログ ディスク	邦	13	0	31%	16	0	35%	601	0	158%	252	0	60%	
	洋	8	0	142%	9	0	128%	230	0	316%	178	0	222%	
	計	20	0	45%	25	0	48%	831	0	184%	430	0	86%	
カセット テープ	邦	663	3	78%	611	2	79%	7,642	3	78%	6,263	2	77%	
	洋	1	0	13%	1	0	17%	13	0	58%	11	0	63%	
	計	663	3	77%	612	2	79%	7,655	3	78%	6,273	2	77%	
その他	邦	24	0	15%	39	0	13%	205	0	52%	244	0	50%	
	洋	15	0	48%	31	0	45%	219	0	65%	422	0	78%	
	計	39	0	20%	70	0	19%	424	0	58%	666	0	65%	
合 計	邦	16,601	70	74%	19,122	68	78%	186,282	74	92%	211,199	71	91%	
	洋	7,018	30	101%	9,033	32	108%	64,022	26	103%	86,161	29	99%	
	計	23,619	100	81%	28,155	100	85%	250,304	100	95%	297,360	100	93%	

● 音楽ビデオ

		10月実績						2004年(1月～10月)累計					
		数 量	構成比	前年 同月比	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同期比	金 額	構成比	前年 同期比
DVD		2,442	97	120%	3,283	97	89%	23,606	96	122%	37,508	95	107%
LD・その他		64	3	95%	90	3	78%	613	2	74%	928	2	62%
テープ		13	1	19%	19	1	10%	402	2	34%	888	2	26%
合 計		2,519	100	116%	3,392	100	84%	24,621	100	116%	39,324	100	98%

● 音楽ソフト（オーディオ／音楽ビデオ合計）

		10月実績						2004年(1月～10月)累計					
		数 量	構成比	前年 同月比	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同期比	金 額	構成比	前年 同期比
オーディオ		23,619	90	81%	28,155	89	85%	250,304	91	95%	297,360	88	93%
音楽ビデオ		2,519	10	116%	3,392	11	84%	24,621	9	116%	39,324	12	98%
合 計		26,138	100	83%	31,547	100	85%	274,925	100	96%	336,685	100	94%

● ビデオ（含音楽ビデオ）

		10月実績						2004年(1月～10月)累計					
		数 量	構成比	前年 同月比	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同期比	金 額	構成比	前年 同期比
DVD		11,065	97	90%	14,156	90	121%	106,758	95	131%	137,717	87	129%
LD・その他		64	1	73%	90	1	69%	660	1	59%	963	1	56%
テープ		330	3	52%	1,402	9	59%	5,201	5	64%	20,233	13	67%
合 計		11,459	100	88%	15,648	100	110%	112,619	100	124%	158,914	100	114%

● オーディオ／ビデオ合計

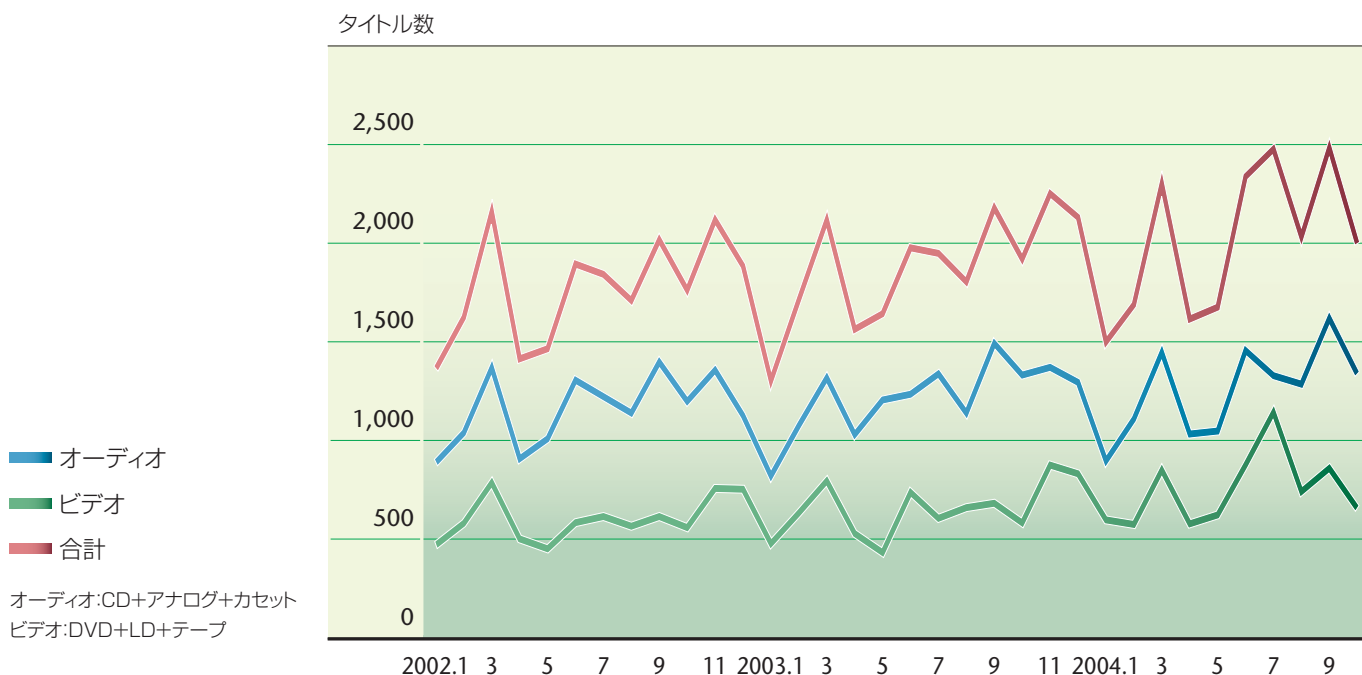
		10月実績						2004年(1月～10月)累計					
		数 量	構成比	前年 同月比	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同期比	金 額	構成比	前年 同期比
オーディオ		23,619	67	81%	28,155	64	85%	250,304	69	95%	297,360	65	93%
ビデオ		11,459	33	88%	15,648	36	110%	112,619	31	124%	158,914	35	114%
合 計		35,078	100	83%	43,803	100	93%	362,923	100	102%	456,275	100	100%

備考 1. 上記実績は、会員会社「42社」の集計である。当会員会社が受託した非会員会社からの販売委託分を含む。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。
※オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計。

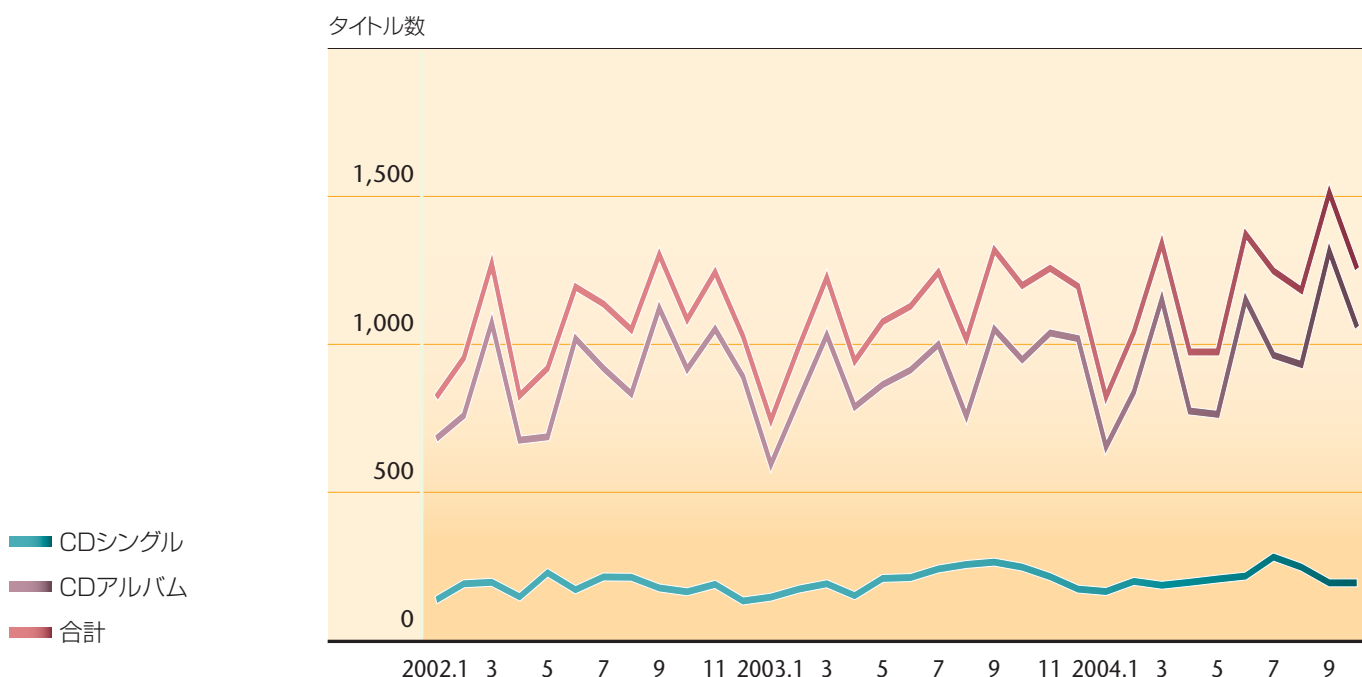
月別オーディオ・ビデオ新譜タイトル数の推移

今月は2002年1月から直近までの月別の新譜リリースをグラフでご紹介します。新譜は毎年3月、9月、11月に多く発売されています。また、毎年春に発行される『日本のレコード産業』では、オーディオレコードの暦年種類別推移をご紹介しますので併せてご覧ください。

● 月別新譜タイトル数の推移



● CDの月別新譜タイトル数の推移



Gold Album +... 認定

2004年10月度

10月度ゴールドアルバム等認定では、ポルノグラフィティ「PORNO GRAFFITI BEST BLUE'S」、Utada「EXODUS」がミリオンを達成しました。

この結果、今年発売されたアルバムのうち、1作品が3ミリオン、6作品がミリオンに認定されました。

邦楽

アルバム

● ミリオン

PORNO GRAFFITI BEST BLUE'S	ポルノグラフィティ	2004.07.28	SE
----------------------------	-----------	------------	----

● ダブル・プラチナ

HEART of GOLD~STREET FUTURE OPERA BEAT POPS~	EXILE	2004.09.29	AVT
蜜	柴咲コウ	2004.02.11	UM
Completely Recorded	横原敬之	2004.08.25	WJ

● プラチナ

ソルファ	ASIAN KUNG-FU GENERATION	2004.10.20	KS
沿志奏逢	Bank Band	2004.10.20	TF

● ゴールド

LION	奥田民生	2004.10.06	SE
追憶+LOVE LETTER	島谷ひとみ	2004.09.01	AVT
BURNING CYLINDER	SHAKALABBITS	2004.09.29	XL
B-DASH BEST	B-DASH	2004.10.14	XL
「SWING GIRLS」オリジナル・サウンドトラック	サウンドトラック	2004.08.21	UM
鋼の錬金術師 COMPLETE BEST	VARIOUS	2004.10.14	SV

シングル

● プラチナ

花	ORANGE RANGE	2004.10.20	SR
思いがかななるその前に...	平井 堅	2004.10.06	DF
シスター	ポルノグラフィティ	2004.09.08	SE

● ゴールド

GIRL TALK/the SPEED STAR	安室奈美恵	2004.10.14	AVT
四季	w-inds.	2004.10.06	PC
大好きだよ。	大塚 愛	2004.10.20	AVT
Blue Jean	GLAY	2004.08.04	TO
Long Long Way	CHEMISTRY	2004.10.27	DF
ミモザ	ゴスペラーズ	2004.10.27	KS
lost angel	day after tomorrow	2004.08.25	AVT
ignitedーイグナイトデー	T.M.Revolution	2004.11.03	ES
遭難	東京事変	2004.10.20	TO
LEGEND	中島美嘉	2004.10.20	AI
黄昏サラウンド	RIP SLYME	2004.10.06	WJ

ビデオ

● ゴールド

KOICHI DOMOTO LIVE TOUR 2004 1/2	堂本光一	2004.10.14	JE
----------------------------------	------	------------	----

洋楽

アルバム

● ミリオン

EXODUS	Utada	2004.09.08	UM
--------	-------	------------	----

● プラチナ

コンフィッションズ	アッシャー	2004.03.24	BMG
アメリカン・イデオット	グリーン・デイ	2004.09.23	WJ
フィールズ・ライク・ホーム	ノラ・ジョーンズ	2004.02.04	TO

● ゴールド

ルーム・オン・ファイア	ザ・ストロークス	2003.10.22	BMG
WOMAN 6	VARIOUS	2004.09.23	MH

※AI:ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ/AVT:エイベックス/BG:ビーグラムレコーズ/BM:バーミリオンレコード/BMG:BMGファンハウス/C:コロムビアミュージックエンタテインメント/CR:日本クラウン/DF:デフスターレコーズ/EP:アップフロントワークス(ゼティマレーベル)/ES:EPICRECORDJAPAN/FL:フォーライフミュージックエンタテイメント/GN:ジェネオン エンタテインメント/GZ:ギザ/JA:ジェイ・ストーム/JE:ジャニーズ・エンタテイメント/JK:ユナイテッド・アジアエンターテイメント/K:キングレコード/KS:キューンレコード/MH:ソニー・ミュージックダイレクト/MU:ドリーミュージック/ON:ビーヴィジョン/PAR:プライエイド・レコーズ/PC:ポニーキャニオン/PK:ピッコロタウン/PY:プラチア・エンタテインメント/PZ:ピザ・オブ・デス・レコーズ/RR:ロードランナー・ジャパン/SE:エスエム・レコーズ/SI:ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル/SN:SENHA & CO./SR:ソニー・ミュージックレコーズ/SV:アニプレックス/TE:テイチクエンタテインメント/TF:トイズファクトリー/TJC:徳間ジャパンコミュニケーションズ/TO:東芝EMI/UM:ユニバーサルミュージック/V:ビクターエンタテインメント/WJ:ワーナーミュージック・ジャパン/XL:アンリミテッドグループ/YR:アール・アンド・シー・ジャパン



PORNO GRAFFITI BEST BLUE'S / ポルノグラフィティ



EXODUS/Utada



HEART of GOLD
~STREET FUTURE OPERA BEAT POPS~/EXILE



蜜/柴咲コウ



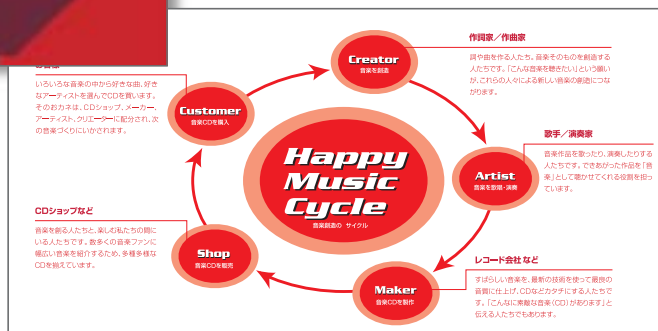
Completely Recorded/横原敬之

※ダブル・プラチナ(50万枚)以上の認定を受けた作品のジャケット写真を紹介します。

協会からのお知らせ



昨年に引き続き、音楽創造のサイクルや著作権法について説明したリーフレットを作成しました。改正著作権法の施行にあわせ、来年1月から、CDショップ、CDレンタル店、学校等で配布する予定です。



Respect Our Music

THE RECORD No.541 2004年12月号

社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 佐藤 修
編集人 田辺 攻
発行日 2004年12月10日
発行 社団法人 日本レコード協会
〒107-0061 東京都港区北青山2-12-16 北青山吉川ビル11F
TEL. 03-6406-0510 (代) FAX. 03-6406-0520 (代)
URL: <http://www.riaj.or.jp/>

制作協力 株式会社エフビーアイ・コミュニケーションズ

編集後記

今年も1年間、当協会機関誌をお読みいただき、ありがとうございました。来年も充実した誌面づくりを目指してまいりますので、ご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

(R.O)